



Niall McCarthy, CONTRIBUTOR

Data journalist covering technological, societal and media topics



sasirin pamai / Shutterstock.com



最低限の栄養を摂取するためのコストには、国や地域により「巨大な」格差がある。飢餓の原因の多くには、食糧があまりに高価なことがある。

国連世界食糧計画(WFP)は、1食にかかる“真のコスト”を明らかにするため、世界のさまざまな国・地域で1日当たりの収入に占める食費の割合を調査し、比較した。先進国では収入に占める食費の割合は比較的小さいが、貧しい国々では収入の大部分を食費に充てなければならない。報告書は、こうした大きな格差を浮き彫りにしている。

ニューヨーク州の一般的な市民の場合、栄養価が600kcalのシンプルな豆のシチュー1食分に必要な材料をそろえるための費用は、1日の収入の0.6%(1.20ドル、約129円)だった(米国経済分析局が発表した1人当たり国内総生産の推計値を基に算出)。同じ基準に換算すると、インドでも費用は手ごろで、同4.5%(9.25ドル)だった。

一方、アフリカではほとんどの国で、状況ははるかに過酷だ。ハイチでは1日の収入の35%、南スーダンでは同155%を費やすなければ、同じ料理を作ることができない。南スーダンでこの豆のシチュー1食分の材料をそろえるためには、1日半働く必要があるということだ。

同国は水も石油も、耕作可能な土地や畜産資源も豊富だ。だが、インフラを欠いていること、雨季には洪水が発生することが、食糧の輸送を困難にしている。WFPによれば、南スーダンで豆のシチュー1杯を作るのにかかる真のコストは、321.70ドルだ。

豆のシチュー1杯にかかる材料費の平均が1日当たりの平均収入に占める各国(地域)の割合は以下のとおりだ。



人気記事

- No. 1 成功を決めるのは「才能」でなく「運」驚きの研究結果発表
- No. 2 中国がVPN規制をさらに厳格化、外国人への影響は?
- No. 3 ソニー「20年ぶりの好決算」を支えたプレー4の好調ぶり



NEW

BRANDVOICE

CATEGORY

MAGAZINE

検索する

ログイン

- ・ヨルダン:2.3%
- ・iran:3.9%
- ・インド:4.5%
- ・ミャンマー:7.0%
- ・ネパール:13.0%
- ・ソマリア:20.0%
- ・イエメン(都市部):22.0%
- ・モザンビーク:30.0%
- ・ハイチ:35.0%
- ・コンゴ民主共和国:40.0%
- ・マラウイ:45.0%
- ・シリア(デリゾール):115.0%
- ・ナイジェリア(北東部):121.0%
- ・南スーダン:155.0%

No
5 が不安視する点とは

»もっと見る

PICK UP

編集=木内涼子



Forbes CAREER

多様すぎるバックグラウンドが、チーム力の秘密。Forbes JAPANを支える4人の社員たち

Forbes BrandVoice™

支持される本命、オーダースーツ・イノベーション

Forbes BrandVoice™

世界で戦う起業家が語る、海外展開に必要なこと

あなたにおすすめ

ペダルが重く感じ始めたら…筋力と関節にうれしいお知らせ
ライオン株式会社[提供リンク]

ついに来たか？ ハイブリッドがカッコよくなる時代

リフォームと建て替えてどっちがお得？
新築そっくりさん[提供リンク]

一流大学20校に合格、米スーパー高校生が書いたエッセー全文

Recommended by Yahoo! JAPAN

関連記事

スタートアップの敵？
世界で最も起業コストが高い都市TOP10

ビビアンスが変化！
「炭水化物をエサにす…」
PR(Tweets.tokyo)

ビタミンCで「生えました
ね～。」1800円で世界…
PR(News Monster)

GoPro 世界的人気で売
上58%増

Recommended by

2018/04/22

ついに来たか？ ハイブリッドがカッコよ…



2018/04/24

年俸1ドルのマーク・ザ…
ーバーグ、警…



NEW

BRANDVOICE

CATEGORY

MAGAZINE

検索する

ログイン